体験型ツーリズムで北海道を堪能しよう！

第1回　観光資源を歩いてつなぐフットパス

北海道は、広大な大地と豊かな自然、おいしい農水産品などを背景とした豊富な観光資源があります。サイクルツーリズムを始めとした体験型ツーリズムは、こうした北海道の魅力を全身で感じることのできる北海道にうってつけの観光と言えます。かいはつグラフでは、道内各地の体験型ツーリズムを紹介します。

①有島記念館から見た羊蹄山

フットパスで大自然を体感しよう

フットパスという言葉をご存じでしょうか？地域のありのままの自然や風景を楽しみながら歩くことができる小径(Path)のことで、イギリスが発祥の地とされています。

道内各地で自治体や市民団体を中心にフットパスコースの整備などの取組が進められており、観光案内所などにおすすめのコースマップを置いている地域もあります。

北海道は新緑の季節を迎え、これから本格的な行楽シーズンを迎えます。

誰でも、自分のペースで、気軽に楽しめるフットパスで、北海道の自然を満喫しながら健康増進を図ってみてはいかがでしょうか？

道内のフットパスコース

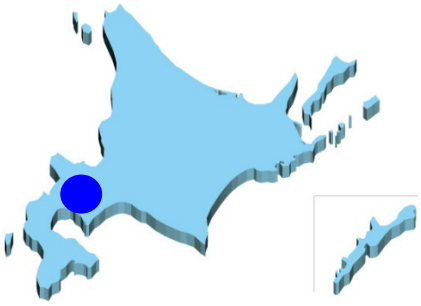
道内では様々な団体がフットパスコースの紹介やイベントの開催を行っています。稚内では氷河期に形成されたという周氷河地形の宗谷丘陵をめぐるコース、根室では酪農家が自分たちの牧場をつなげて作ったコース、函館では、日本最古の観覧車やコンクリート電柱などの土木・産業遺産を巡るコースなど、地域の観光資源を活かした特色あるコースがホームページなどで紹介されています。

今回は、自治体が紹介しているフットパスコースのうち、ニセコ町おすすめのコースを紹介します。

自然豊かな地域ニセコエリア

ニセコエリアは、札幌から国道２３０号を通り中山峠を越えて行くか、小樽回りで国道５号線を通り稲穂峠を越えて、車で約２時間の位置にあり、周囲を羊蹄山やニセコ連峰の山岳に囲まれた自然豊かな地域です。

この地域では、豊かな自然を背景に、春から秋はニセコ連峰や羊蹄山への登山・トレッキング、尻別川でのラフティングや渓流釣り、冬はスキーやスノーボードなど、１年を通じて、様々な体験をすることができます。



ニセコエリアのフットパスコース

ニセコ町では、自然、観光、農業といった町の特徴を活かした３つのフットパスコースと４つのサイクリングコースを推奨しています。今回は、フットパスコースの中から作家有島武郎ゆかりの地が多く含まれる「文学・歴史の散歩道コース」を歩いてみました。

②急勾配な「親子の坂」を越えると羊蹄山と美しい田園風景が広がります。

「文学・歴史の散歩道コース」を歩く

ニセコ駅からスタートして作家有島武郎ゆかりの地をめぐり、道の駅ニセコビュープラザを経由してゴールの町営温泉「綺羅乃湯」に至る全長１０km程度のコースです。

スタートのニセコ駅から少し歩くと小説「親子」に登場する坂に着きます。未舗装で急勾配なこの坂を越えると、羊蹄山と丘陵地の美しい田園風景が開けます（写真②、③）。

遊歩道を通って、弥照神社や有島解放記念碑（写真⑤）を見た後で、有島記念公園・記念館に立ち寄れば、途中で見てきた有島武郎ゆかりの地についても詳しく学ぶことができます（写真①）。記念館では常設展示の他、十五分程度のビデオ上映もあります）。

有島記念館を出て遊歩道を２km程歩くと道の駅ニセコビュープラザに着きます。

③昭和40年に建てられた山小屋風のニセコ駅駅舎からスタート

⑤有島武郎が農場解放を宣言した弥照神社（上）と有島解放記念碑（下）

④ニセコ大橋は、ニセコの四季と調和した色として黄色が採用されています。

道の駅に併設された農産物直売所では、ニセコ産にこだわった新鮮な野菜を購入できるほか、テイクアウトコーナーでは地元食材を使ったソフトクリームやあげじゃがで一息つくことができます（下枠もご覧下さい）。

道の駅を過ぎて殖民軌道跡（昭和二十八年頃まで営農物資や収穫物の運搬に使われていた軌道跡）を通り、ニセコ大橋（写真④）をくぐれば、ゴールの駅前温泉綺羅乃湯に到着です。

延べ３時間半程度のコースですが、明治時代の国有未開地の払い下げ以後、有島農場を始め開拓が進められてきた旧狩太町（現ニセコ町）の歴史や有島武郎の作品の背景なども学べる有意義なフットパスコースでした。

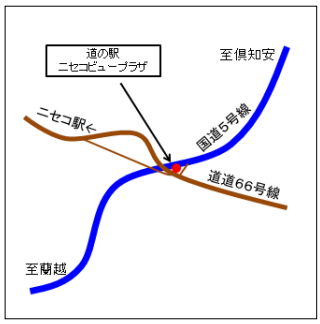
有島武郎(1878～1923)

小説家・評論家。学習院中等科卒業後、札幌農学校に編入学。志賀直哉、武者小路実篤、弟生馬、里見弴らと共に「白樺」同人となり、「カインの末裔」、「生まれ出ずる悩み」など北海道を舞台にした作品を多数発表した人道主義文学の代表的な作家。

大正１１年に父武から受け継いだ４４４haに及ぶニセコの農地を、土地共有を前提に無償解放した。有島武郎が小作人を集め、無償解放を宣言した場所が弥照神社。

道の駅でちょっと休憩「ニセコビュープラザ」

本文のフットパスコースでも触れた道の駅「ニセコビュープラザ」は、国道5号沿い、羊蹄山の雄大な景色を眺めることができる場所にあります。



住所：虻田郡ニセコ町元町 77-10

道の駅内には、観光や道路に関する情報発信のほか、おみやげや地酒などを販売している「情報プラザ棟」、ニセコ産の農産物や加工品が並ぶ「農産物直売所」及び「テイクアウトコーナー」などの施設があります。

また、屋外には、ニセコエリアをサイクリングする観光客に配慮した自転車スタンドが設置されているほか、休憩テラスなどの設備があり、天気の良い日には、羊蹄山の雄大な景色を眺めながら休憩することができます。

施設内には、防災用大型モニターや停電時の発動発電機を常備するなど、暴風、豪雨、豪雪などの災害時の防災拠点としての機能も付加されており、地域の観光拠点としてだけでなく、防災拠点としても重要な施設となっています。

ニセコ方面に観光の際は、道の駅に立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

情報プラザ棟（上）と物産展の様子（下）地酒「蔵人衆」を始め、地元産品を原料とした加工品などが並ぶ。

～　はみだしクイズ　～

どこのカントリーサイン？

カントリーサインは、市町村界に設置されている道路標識です。

各市町村のシンボルマークとして地域の特色を活かしたデザインとなっています。

下のカントリーサインは、京極町、ニセコ町、倶知安町、真狩村、蘭越町、喜茂別町の６つの町村のものです。

どれがどの市町村のカントリーサインかわかりますか？

地域の特産などから考えてみましょう（答えは最終ページに掲載）。